

(様式4)

校 種	① ・ 中 どちらかに○	学校番号	1 6	学校名	宇都宮市立石井小学校
-----	-----------------	------	-----	-----	------------

令和5年度 健康（体力・保健・食・安全）に関する取組

1 健康（体力・保健・食・安全）に関する主な実態

(1) 定期健康診断・元気っ子健康体力チェックから

- ・定期健康診断の結果から、体格は、高学年の女子が全国平均を上回っているが、他は全国平均と同程度である。また、肥満度 20%以上の肥満傾向児童は、全体の 12.5%を占めており、ほとんどの学年で、男女ともに全国平均よりも多い出現率である。
- ・裸眼視力 1.0 未満の児童の割合は、52.8%と、全国平均の 36.9%よりもかなり高く、年々増加傾向にある。
- ・う歯罹患率は 44.8%で、全国平均の 39%よりもやや高いが、半数以上は受診している。
- ・「元気っ子健康体力チェック」の結果では、全国平均と同等な種目が多い。
- ・種目別でみると、男女を通して多くの学年で 50m走、20mシャトルランの記録が劣っている。

(2) 元気っ子健康体力チェックのアンケート及び国・県・市の児童生徒質問紙・学校質問紙などから

- ・コロナ下で休み時間の運動を制限されることも多かったが、多くの児童が外に出て、遊びや運動に親しんでいる。「児童は、休み時間や放課後などに進んで運動している」に対する肯定的回答率は 90.9%であった。
- ・ほとんどの児童は、毎朝朝食をとっているが、就寝時刻が遅いために早寝・早起きが習慣化されていない児童が若干名いる。
- ・さまざまな状況に対する避難訓練（地震・火災・不審者・竜巻・引き取り）の経験や保健学習の成果として状況に応じた適切な行動をとることができる児童が増えている。

(3) 授業や健康安全・体育的行事等への取組状況から

- ・運動内容を精選したり、各種検定を取り入れたりしながら、児童が意欲的に取り組めるような授業計画を立てている。
- ・保健学習の充実として、外部講師を招いての講話（一次救命処置・AED の使用方法・喫煙・飲酒・薬物乱用防止・人命尊重など）を実施している。
- ・児童の食・健康についての理解が深まるように、実施時期を考慮しながら学校栄養職員や養護教諭が T2 として保健授業に関わっている。（実施例：「育ちゆく体とわたし」、
「生活習慣病」、「かぜ・インフルエンザの仕組みと予防」「心の健康」）
- ・危険の予知や回避する行動の素地となるように、避難訓練において、災害や竜巻、不審者の対応、引き取り訓練などを実施している。特に竜巻訓練は予告なしで行い、対応力を高められるように取り組んでいる。

2 今年度の重点目標

- ・自らのより良い健康や体力についての見方や考え方を深め、進んでその向上に努める児童の育成
 - ～基礎体力の向上を目指した教科体育の充実～
 - ～保健指導及び食育との関連を踏まえた保健学習や学級活動の充実～

3 今年度の取組（「第2次宇都宮市学校教育推進計画後期計画」に関する取組は文頭に★，

「令和5年度指導の重点」に関する取組は文頭に□）

（1）望ましい食習慣の育成

- ★□食育だよりや委員会活動を通して食事のマナーや栄養バランスについての指導を行う。
- ・苦手なものにチャレンジ週間の実施（6月）
- ・食事のマナー重点週間の実施（9月）
- ・陽東地域学校園での取り組み（「食育だより」の発行，統一献立，食生活アンケートの実施，お弁当の日の計画・実施）

（2）健康・体力の向上

- ★□元気っ子健康体力チェック，ミニマム達成状況の結果を考慮した計画的な補強運動の実施
- ★□各種検定に向けた組織的な活動の工夫（陽東地域学校園における組織的な連携を通して）
- ・保健授業として一次救命処置（BLS）の実施
- ・養護教諭による肥満傾向児童のへの個別指導の実施（通年：希望者対象）
- ・体力向上を図るための日常的な運動の工夫（例：サーキットトレーニング）
- ・児童同士の交流や運動の場となるような「スポーツ交流会」の計画と実施
- ・うつのみや元気っ子チャレンジへの参加
- ・陽東地域学校園における共通の歯磨きや姿勢指導の実施

（3）家庭・地域との連携協力

- ★□技能や記録の向上を確認できるような各種検定等の結果の累積（「石井っ子 体のノート」）と家庭や地域への発信（通年）
- ★□保護者や地域の方々によるスクールガードの登下校の見守り（通年）
- ・生活習慣に関するアンケートの実施，懇談会等での話合い